

研修部 報告



9月以降の活動について5点報告させていただく。

1点目は第58回北海道小学校長会教育研究十勝大会についてである。大会キャッチフレーズ「未来を担う子らに新たな知を拓く力を大空と大地広がる夢大陸十勝から」のもと、開催された十勝大会は、全道各地から660名の参加を得て、2日間の大会を成功裏に終えることができた。現大会主題、副主題で開催される3回目の大会であり、第56回渡島北斗大会、第57回日高大会における研究の成果と課題を受けて、どの分科会においてもすばらしい研究発表がなされ、それに基づいて熱心な研究協議が行われた。

道小では、分科会を学校づくりのビジョンを語り合う場、交流の成果をもち帰ることができる場として位置付け、参画型の分科会運営を実行しており、本大会においてもアナライズカードや参会者の持参資料の効果的な活用、実物投影機を使用しての全体協議の工夫などによって参会者一人一人の課題意識や参加意欲などの高まりが見られ、参画型の分科会は定着してきているように感じている。ご協力、ご参会いただいた会員の皆様には心からお礼申し上げる。また、大会を成功に導いてくださった中村吉晃大会実行委員長と石川満事務局長を中心とした大会実行委員会の皆様の大変きめ細かな運営とおもてなしに、改めて感謝と敬意を表する。

さる10月13日に運営研修会を開催し、午前中に大会反省会、午後には平成28年度の開催地である小樽地区への引継会を終えているが、これについては、この後の協議において、研修部副部長から報告させていただく。

2点目は、第67回全連小研究協議会山口大会についてである。10月22、23日の両日、山口県山口市で開催された。道小は、各地区1割参加の体制で臨んだ。北海道からの研究発表は、研究領域Ⅱ教育課程第6分科会「健やかな身体」において、浜中町立浜中小学校校長 湊谷美樹治先生に、また、研究領域Ⅴ教育課題 第13分科会「連携接続について」において、豊浦町立豊浦小学校校長 森田芳明（よしはる）先生にさせていただいた。山口大会の詳しい報告については、後ほど、研修部事務局幹事からさせていただく。

3点目は、小学校教育別冊第52号についてである。毎年大会の研究集録として作成している小学校教育別冊は、今大会においても、十勝大会実行委員会の研究部及び各分科会の記録担当の先生方に大変ご苦勞いただき、おかげさまでただ今順調に作業が進んでいるところである。予定通り、12月中に発行することができる見込みである。

4点目は、教育改革等に関する調査についてである。7月に全連小より依頼のあった教育改革、教育課程、現職教育等の調査用紙を各地区の研修部長の先生に依頼し8月に回収し、全連小に送付した。3月には調査結果が研究紀要の冊子となってお手もとに届くことになっている。ご活用いただければと思う。

最後5点目は、地区研究活動についてである。一昨年度から北海道小学校長会のホームページに地区研究活動を掲載している。掲載する原稿の提出期日が11月30日となっている。今月の初めに各地区の研究部長の先生に再度、依頼文書を送付している。ご協力をお願いします。